

新品種の紹介

多収で成熟期の早い黒ダイズ新品種「くろさやか」

【開発の背景】

2004年に当センターが育成した黒ダイズ品種「クロダマル」は、暖地に適した極大粒黒ダイズとして九州各地で栽培・活用されています。しかし、「クロダマル」は主力品種「フクユタカ」に比べ収量が低く、また、成熟期が11月中旬頃になるため、早霜による品質・収量の低下が生じる恐れがあります。このため、従来に比べ成熟期が早く、多収で作柄が安定する黒ダイズの育成を目指しました。

【品種の特徴】

「くろさやか」の成熟期は11月初旬頃で、「クロダマル」より早熟です。「クロダマル」や「フクユタカ」より長茎で、やや倒伏しやすいものの、両品種に比べ多収です（表1）。子実の大きさは「クロダマル」より小さめですが（表1、写真1）、豆菓

子など、この粒大を活かした用途に活用できます。

また、青臭みの発生に関与する酵素であるリポキシゲナーゼを全て欠失しています。この特徴を活かし、普通のダイズでは青臭みが製品の風味を損ねることの多かったパン、ケーキ、麺類などにも、大豆粉として加えて利用することが簡単にできます。

【期待する活用場面】

「くろさやか」の栽培適地は、暖地と中国地方以南の温暖地です。広島県下で豆菓子の生産・販売を目標に、今年から大規模な試作栽培が行われています。今後、「くろさやか」の高い収量性や特徴のある品質を活かし、「クロダマル」と用途別に使い分けることにより、地域特産品、6次産業化等へ利用が拡大することを期待しています。

【作物開発・利用研究領域 高橋 将一】

表1 「くろさやか」の特性

調査地	九州沖縄農業研究センター (育成地・熊本県合志市)			広島県農業技術センター (東広島市)	
調査年次	2009～2011			2010～2011	
栽培条件	普通畑7月上旬播			転換畑7月上旬播	
項目\品種名	くろさやか	クロダマル (標準)	フクユタカ (比較)	くろさやか	クロダマル (標準)
成熟期(月・日)	11.3	11.16	10.30	11.16	11.23
主茎長(cm)	73	65	69	71	66
子実重(kg/a)	44.1	34.6	39.4	50.0	36.9
同上対標準比(%)	127	100	114	136	100
百粒重(g)	34.1	50.6	29.7	38.6	53.1

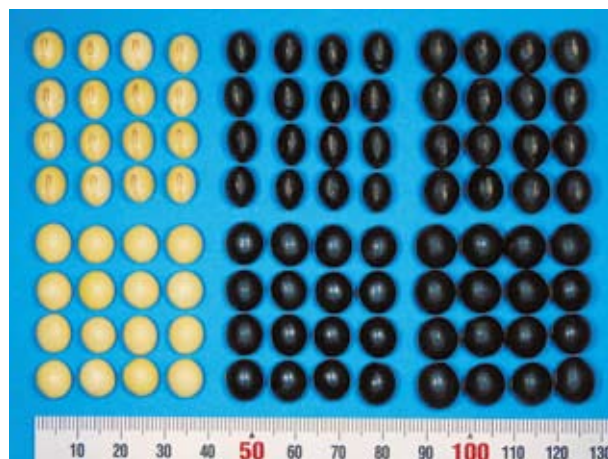


写真1 「フクユタカ(左)」、新品種「くろさやか(中央)」、「クロダマル(右)」の子実